

## 29. 研修プログラムの名称及び概要

別紙3

プログラム番号： \_\_\_\_\_ 臨床研修病院の名称： \_\_\_\_\_  
 病院施設番号： 030718 独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター  
 臨床研修病院群番号： 0307185 臨床研修病院群名： 独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター臨床研修病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	嬉野医療センター臨床研修プログラム				
2. 研修プログラムの特色	2年間を通して、内科（24週）、救急（12週）、総合診療科（8週）、地域医療（4週：平戸市立生月病院）、小児科（4週以上）、産婦人科（4週以上）、精神科（4週以上）、外科（4週以上）を必修研修期間として行い、その間に研修医の希望する選択科を自由に研修出来るプログラムとなっている。選択科研修は、このプログラムの協力型病院である、佐賀大学や佐賀県医療センター好生館等の佐賀県内施設のみならず、長崎大学や長崎医療センターでも研修可能である。				
3. 臨床研修の目標の概要	社会に必要とされるより良い医師育成を目指し全人的医療とプライマリ・ケアの基本的診療能力・技能を身につけることを目的としている。				
4. 研修期間	( 2 ) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)				
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。				
5. 臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間） * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。				
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	
(記入例) x x 科	123456	〇〇 病院	〇週	〇週	
必修科目・分野	内科	030718	嬉野医療センター	24週	
	救急部門	030718	嬉野医療センター	12週	
	地域医療	034190	平戸市立生月病院	4週	一般外来
		036045	満岡内科クリニック		2週
					在宅診療
				2週	
	外科	030718	嬉野医療センター	4週	
	小児科	030718	嬉野医療センター	4週	
	産婦人科	030718	嬉野医療センター	4週	
	精神科	137230	嬉野温泉病院	4週	
030715 000000		肥前精神医療センター 園田病院			
一般外来	030718	嬉野医療センター	8週		
病院で定められた必修科目					

選 択 科 目		030718	嬉野医療センター	40週	
		030721	長崎大学病院		
		030724	長崎医療センター		
		070032	長崎川棚医療センター		
		030716	佐賀大学医学部附属病院		
		030714	佐賀県医療センター好生館		
		030717	唐津赤十字病院		
		030917	佐賀病院		
		033222	佐賀県杵藤保健福祉事務所		

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低52週 ※原則として、52週以上行うことが望ましい。

臨床研修協力施設での研修期間・・・最大12週 ※原則として、12週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。

研修プログラムに規定された4週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約96回（約4回/月）

救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4週※但し、4週を上限とする

一般外来の研修を行う診療科・・・総合診療科

※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

※選択科目：循環器内科・呼吸器内科・消化器内科・神経内科・リウマチ科・腎臓内科・心臓血管外科・脳神経外科・整形外科・麻酔科・泌尿器科・放射線科・耳鼻咽喉科・眼科・産婦人科・救急科・病理診断科

※研修期間については各診療科4週以上で検討する。

※研修には、院内感染や性感染症等を含む感染対策、予防接種等を含む予防医療、虐待への対応、社会復帰支援、緩和ケア、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）、臨床病理検討会（CPC）等、基本的な診療において必要な分野・領域等に関する研修を含む。また、感染制御チーム、緩和ケアチーム、栄養サポートチーム、認知症ケアチーム、退院支援チーム等、診療領域・職種横断的なチームの活動への参加や、発達障害等の児童・思春期精神科領域、薬剤耐性菌、ゲノム医療等、社会的要請の強い分野・領域等に関する研修への参加を促進する。